

海洋土木(橋脚建設)現場にて「ドロンパK」採用

概要

徳島市の吉野川河口において、高速道路橋脚を建設する際に潜水士の視覚確保を目的に濁水処理が計画されました。

条件としては水処理材、処理水、反応物(沈殿物)全てについて海洋への悪影響がないことがあげられ、合わせて反応性、沈降速度についても高い性能が求められました。

ドロンパKはそのいずれにおいても高い評価を頂き、採用に至りました。



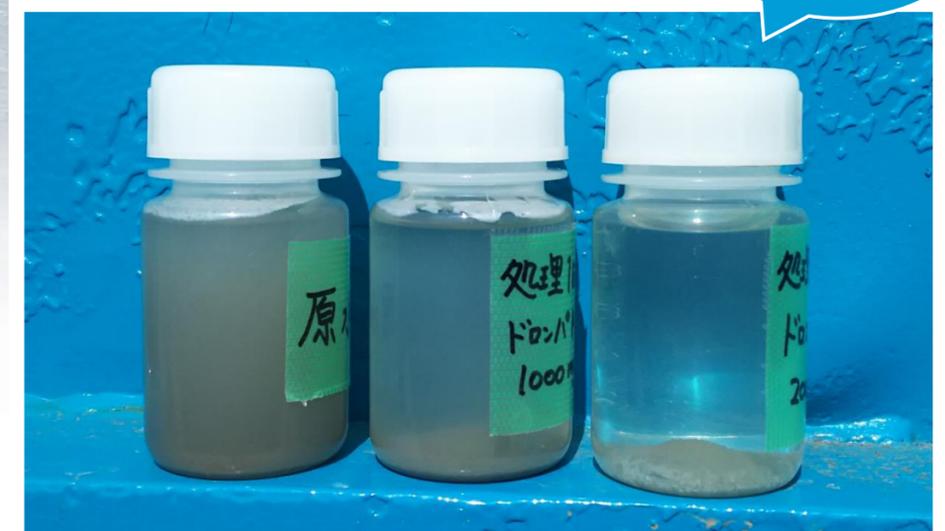
現場(遠景)

成果

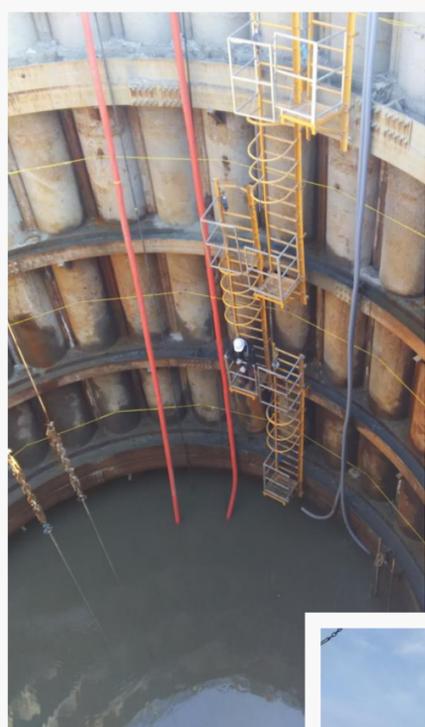
	濁度	pH	EC: S/m
原水	10,072(透視度0cm)	8.50	5.86
2次処理水	27.5(透視度>50cm)	8.47	5.72

作業台船の反応設備を利用し、右下の処理フローに基づき処理が行われました。pH、ECをほとんど変えることなく、濁度を低減し、潜水作業に必要な50cm以上の視界が海域に悪影響なく確保されました。

効果
抜群!

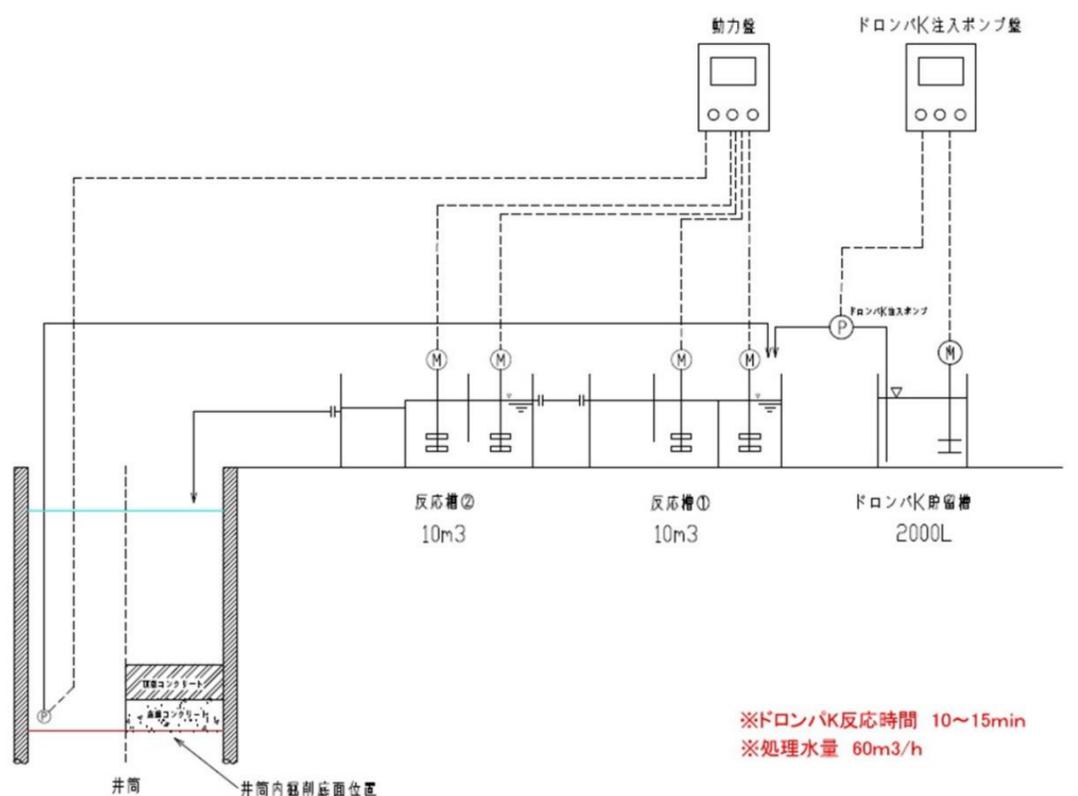


原水・一次処理・二次処理状況



施工状況(井筒内部)

作業所(ポンプ設置状況)



濁水処理装置フロー